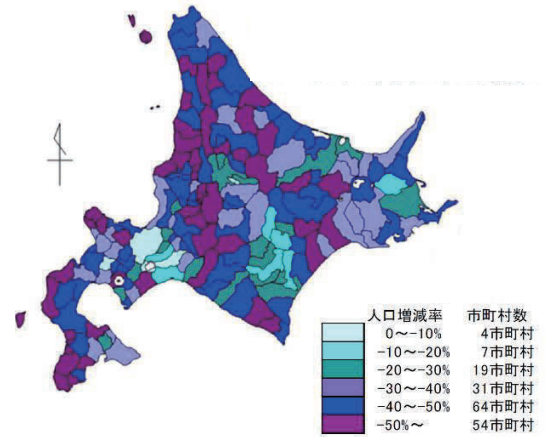
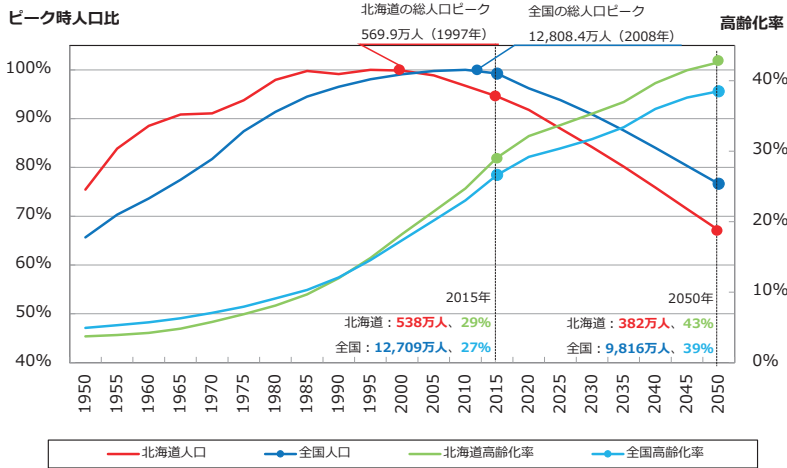


2. 人口減少・高齢化の状況

北海道では全国を上回るスピードで人口減少が進んでおり、近い将来、高齢化とも相まって、経済、暮らし、行政などの幅広い分野において、深刻な事態になることが危惧されます。建設業就業者数はピーク時の約60%となっており、全国に比べて減少率が大きく、高齢化が進んでいます。

一方、地域おこし協力隊の受入数（令和4年度943人、全国シェア13.8%）や任期終了後の定住者数（令和4年度時点までに968人）が全国一となるなど、近年、関係人口の広がり期待されています。

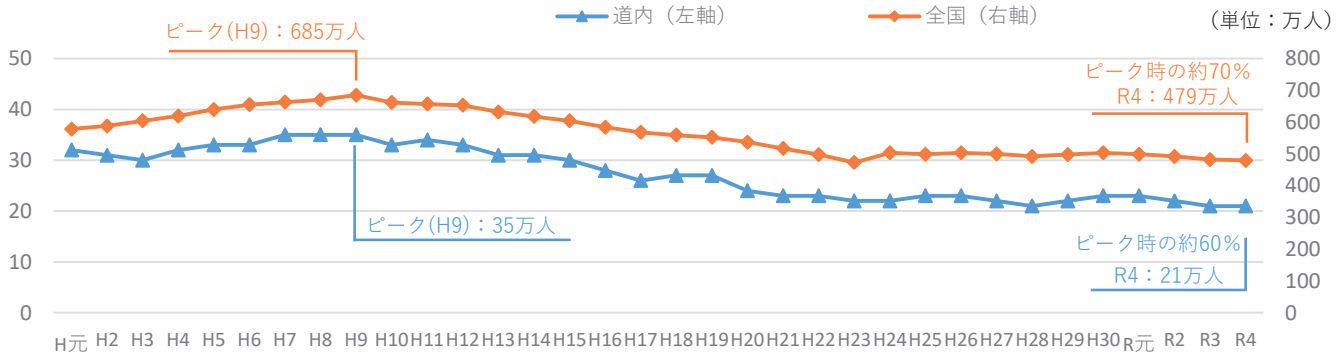


道内人口の将来推計

【出典：人口推計（総務省）、将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）】

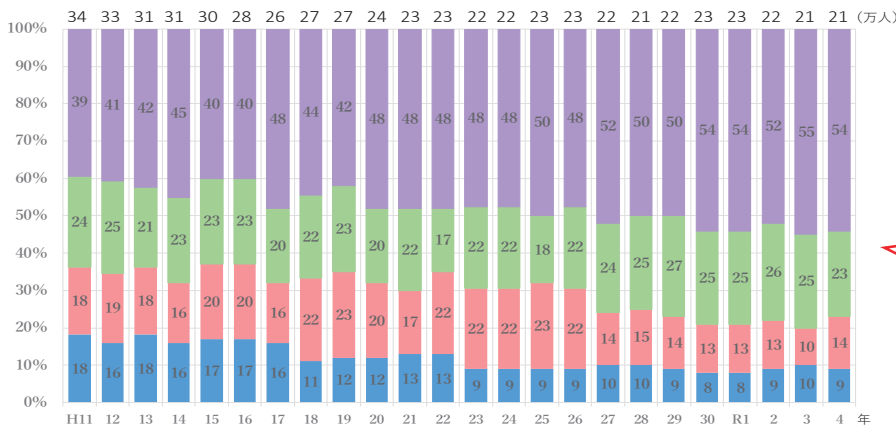
市町村別人口減少率（2020年→2045年（推計））

【出典：国土審議会北海道開発分科会第25回計画推進部会資料（国土交通省）】



建設業就業者数の推移（北海道）

【出典：総務省労働力調査】



年齢階層別の構成比は50歳以上が約54%、29歳以下が約9%と高齢化が進んでいる。

年齢階層別の建設業就業者数構成比の推移（北海道）

【出典：総務省労働力調査】